

案内

収蔵コレクション「中山義秀展」

- 日時 1月15日(土)～2月27日(日)／午前9時30分～午後5時 ※入館は午後4時30分まで(休館日／月曜日)
- 会場 県立神奈川近代文学館(横浜市中区)
- 協力 中山義秀記念文学館
- 入館料 一般 250円、20歳未満及び学生 150円、高校生以下及び65歳以上 無料(無料招待券は、中山義秀記念文学館 ☎3614まで)
- 県立神奈川近代文学館 ☎045-622-6666



マタニティマークをご存じですか？

市では、妊婦さんにやさしい環境づくりを推進しています。マタニティマークを見かけたら、やさしい心づかいをお願いします。

●本庁舎健康増進課 ☎272112

バス・鉄道利用促進デー

毎月1・11・21日は、バス・鉄道利用促進デーです。環境にやさしいバス・鉄道を利用しましょう。

- 《県内バス特殊割引回数券》バス・鉄道利用促進デーに限り、利用できる特殊割引回数券(1、400円分)を1、000円で販売します。
- 県生活交通課 ☎024-521-7158

多重債務相談窓口

改正貸金業法が6月18日に完全実施され、借入れルールが変わりました。

《総量規制(借りすぎ・貸し過ぎの防止)》

▽年収の3分の1を超える額の新規の借入れができなくなりました。▽借入の際に収入を証明する書類が基本的に必要になりました。

- 《上限金利の引き下げ》▽法律上の上限金利が29.2%から、借入金額に応じて15%に引き下げられました。福島財務事務所では、改正

貸金業法に関する問い合わせや、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々の相談に応じています。

抱えている借金の状況をお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎを行います。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

まちかど伝言板

- 受付時間 月曜～金曜日(祝祭日・年末年始除く)／午前8時30分～午後5時15分
- 東北財務局福島財務事務所 ☎024-533-0064

田舎暮らしコンシエールジュ養成講座

都会から移住してきた方々に、田舎暮らしの情報・知識・技能を提供したり、相談にのる人を養成する講座です。

- 日時 1月22日(土)・29日(土) 2月5日(土)／午後1時～4時15分
- 会場 マイタウン白河(本町)
- 参加料 無料

●申し込み・問い合わせ先 NPO法人白河ふるさと回帰支援センター ☎241099

櫻井よしこ講演会

●日時 2月3日(木)／午後7時～8時30分
- 会場 ホテルサンルート白河(JR新白河駅前)
- テーマ 「今、日本が直面する内外の課題」
- 入場料 1,000円
- (財)立教志塾 ☎231427

アイスキャンドル2011

アウシュヴィッツ収容所の解放日(1月27日)に、ヨーロッパでは日本の精霊流しのように犠牲者を悼みます。当館でも解放日に近い1月29日に、平和への願いを込めて氷と牛乳パックのキャンドルを6000坪の敷地に灯します。

- 日時 1月29日(土)／午後5時から
- 会場 アウシュヴィッツ平和博物館(白坂)
- 入場料 無料
- NPO法人アウシュヴィッツ平和博物館 ☎282108

『ウサギの耳とワシの目』

白河市長 鈴木 和夫



皆様、明けましておめでとございます。このところ、尖閣や北方諸島、そして朝鮮半島をめぐる不穏な動きが相次ぎ、加えて国政の不安定が国民の不安を招いています。国を担う責任と気迫で確かな舵取りを望みたいと思います。さて、本年は卯年。ウサギは私たちに身近で、キツネやタカの獲物になる小さく弱い動物。でもその分、危険を察知する長い耳と俊敏な足を持ち、同時に旺盛な繁殖力を得ました。キリストの国では生命と復活の象徴。日本では、ワニを騙し損ね丸裸にされたり、昼寝しカメに先を越されたりと、小賢しいもののどこかぬけていて憎めないイメージでしょうか。

昨年、今井珠泉先生の展覧会を催しました。小中学生はじめ多くの市民に足を運んで戴き大変好評でした。作品には、凍りつく北の大地や海に生きる動物が多く、特にイヌワシやオオタカを描いておられます。おのれのみを頼りに生きる。今日餌にありついても明日の保証はない。そのギリギリのところまで研ぎ澄まされた全神経を張って命をつなぐ。その厳しさに魅了されると先生は言います。また自ら深山に分け入り、流水に身を置き、あたたか自然の一部となったように五感を働かせることと。先生の気高い孤高さと精神性を感じます。そして何よりも、私たちに「生きる」ということの本質を教えているように思えます。

尖閣でのことは中国の横暴です。歴史的に日本領土と認めてきたが、石油の存在を知ると手の平を返し領有権を主張。旧ソ連も終戦直前、中立条約をいとも簡単に反故にし北方諸島を占拠。尖閣騒動の時に、狙いますかのように大統領が北海道を見通せる地へ足

を伸ばす。そもそも中国は中華思想、ロシアは膨張主義。時が移り人が変わっても国の本能は変わらないでしょう。かつて「日本人は水と安全はただとっている」と喝破した評論家がいまも。しかし、日露戦争前夜の日本は必死でした。北方の熊ロシアが、満州を拠点に朝鮮に手をかけようとする。呑みこまれることの恐怖が日本を掩う。リーダーは「勝つことにはない、せいぜい五分と五分。しかしやらねばならぬ」と悲壮な決断をしました。ここで、政治家、外交官、軍人たちが能力の限りを尽くします。英国の懐にとびこんで同盟を結ぶ。米大統領との友情をテコに和平仲介を依頼。外債による戦費調達。ロシア反政府組織への支援。脳しように絞った大海戦の作戦。小さな動きも見逃さず、相手の意図を見抜く「ウサギの耳」と国際情勢や彼我の経済力・軍勢力をつかむ「ワシの目」を持った人物がいました。

世界がうねりをあげ新たな時代につき進んでいます。しかし、いまなお世界は弱肉強食の影をひきずっています。これからは、経済は勿論、外交・防衛等国土と国民を守るため「ウサギの耳」と「ワシの目」を持つ普通の国家としての振舞が求められます。一方、地方も「自分のまちは自分がつくる」という強い意思が必要です。そのためには、世界と日本の動きを敏感かつ本質的にとらえ、その影響を量り的確な対策をうつ力を持たなければなりません。

4月には、新図書館、商工会議所そしてヨークタウンが一斉にオープンします。中町の一角にも8つの店舗が軒を並べる空間ができ、駅前周辺が変わろうとしています。また、インターネットサービスマックス最大のヤフーの進出も決まり、春にも着工します。市と県の連携そして首都圏への近接、地震への強さ等白河の優れた条件が評価された結果です。私たちの住む白河に自信と誇りを持ち、この一年元気に歩いていきましょう。

市の事業の進捗状況などについてお知らせします。

お知らせします 市の各種事業

【白河市歴史まちづくり計画(白河市歴史的風致維持向上計画)】

本市では、史跡「小峰城跡」を核として、地域に残る歴史的な建造物や町並み、提灯まつりやだるま市などの伝統的な人々の活動を継承していくため、平成20年に制定された「歴史まちづくり法」に基づく「歴史まちづくり計画」を策定し、国の認定を目指しています。

認定となれば県内第1号となり、今後、様々な法律上の特例措置や国の総合的な支援を受け、本市に残る歴史的・文化的資源を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。

●本庁舎都市計画課 内2293



▲白河提灯まつり総町渡御